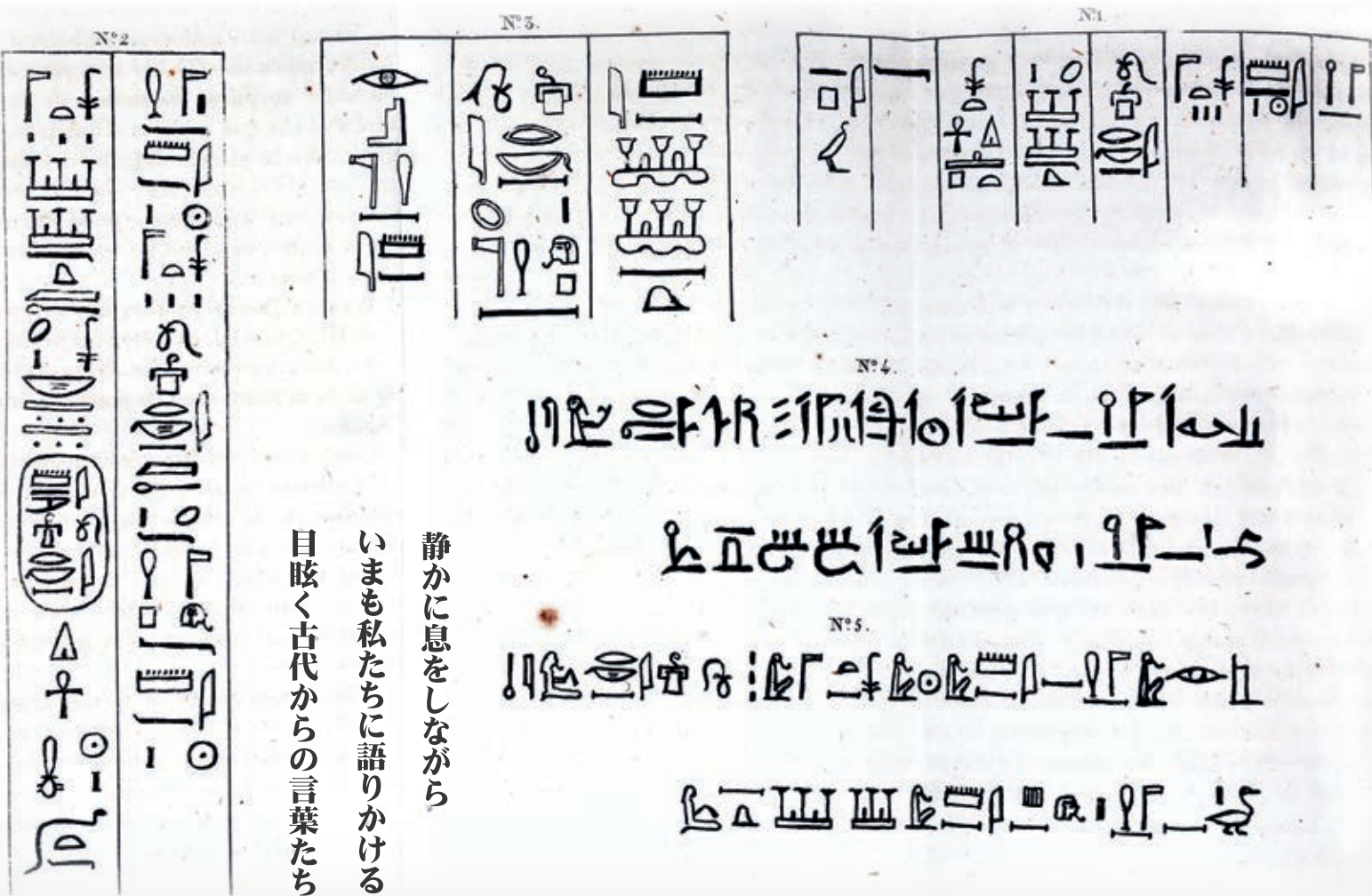




静かに息をしながら
 いまも私たちに語りかける
 目眩く古代からの言葉たち

解説!

アジアの古代文字(2021)

2021年

11月11日(木) ▶ 11月24日(水)

土日祝休場 (11月20日、11月21日、11月23日の外語祭期間中は開場)

開場時間: 11:00 - 16:00

※通常の企画展より、開室時間が短くなっておりますのでご注意ください。

東京外国語大学
 アジア・アフリカ言語文化研究所
 1階資料展示室

入場無料(事前予約制)

※感染症対策を講じた上で実施します。ご来場される方にも、マスクの着用・検温・手指の消毒などのご協力をお願いします。
 なお、事前のお申し込みは下記URL、もしくはQRコードよりお願いします。(ご予約にはYahoo!IDの登録が必要となります)

<https://passmarket.yahoo.co.jp/event/show/detail/02pm0g1mgzn11.html>



主催: 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所(AA研)
 企画: AA研既形成拠点GICAS
 AA研共同利用・共同研究課題「アジア文字研究基盤の構築(2)一文字学に関する既存術語の再検討」、
 科学研究費補助金挑戦的研究(萌芽)「アジアの文字研究を対象とした、「字形」研究基盤の構築」



ごあいさつ

「古代エジプト文字とロゼッタストーン」「楔形文字とベヒストウン碑文」「ミャンマーの各種古代文字とミャゼディ(ラージャクマール)碑文」…断片的な文字情報から古代の言語の姿を明らかにするという研究は、「古代文字の解読」として、広く知られる言語学的成果です。本邦では、研究者によって多くの「解読」が試みられ、一般向けの書籍も数多く出版されており、関心の高さがうかがえます。

しかし、「言語の研究」と「文字(そのもの)の研究」は本来分けられるものです。言語の研究とはまた別に、文字や字形に関する研究も進展しています。こうした研究も各地の研究者によって進められています。それぞれの専門家による、最新の研究紹介を行う場として、本展示が企画されました。

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所既形成拠点GICAS(アジア書字コーパス拠点)は、アジアの貴重な文献・書籍の収集に努めるだけでなく、文字そのものに関わる研究も継続してきました。本企画展「解読!アジアの古代文字(2021)」では、GICAS、アジア・アフリカ言語文化研究所文献資料室などが所蔵する、アジアの各種文字資料、古代文字とその解読に寄与した書物などを紹介します。さまざまな言語・文字に溢れたアジア世界、そして知的好奇心を刺激する、文字研究の一端を知っていただければ幸いです。

2021年11月

アジア・アフリカ言語文化研究所 所長 星 泉
既形成拠点GICAS 代表 荒川 慎太郎

※なお、本展示は、新型コロナウイルスの状況を鑑み、当初予定の会期・規模を縮小し、感染症対策を講じて開催するものです。



●Champollion
『ヒエログリフの体系概説』(1824年初版)



●ナシ族ゴバ文字経典



●『西夏国書字典音同』

解読!

アジアの古代文字(2021)

2021年

11月11日(木) ▶ 11月24日(水) 入場無料

土日祝休場 ※11月20日、11月21日、11月23日(外語祭期間)は開場

※事前予約制

【開場時間】

11:00 - 16:00

※通常より開室時間が短いのでご注意ください

【会場】

東京都府中市朝日町 3-11-1

東京外国語大学

アジア・アフリカ言語文化研究所

1階資料展示室

【問い合わせ先】

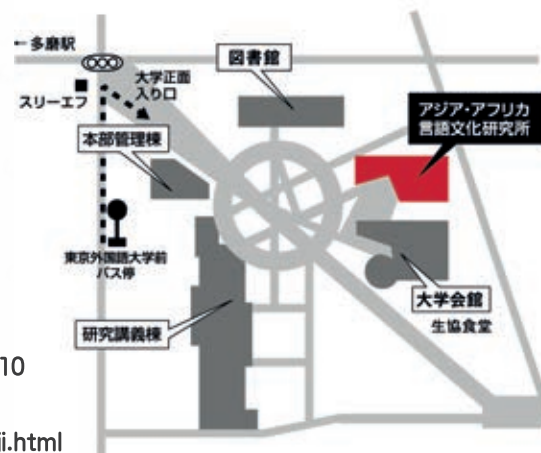
東京外国語大学

アジア・アフリカ言語文化研究所

TEL: 042-330-5600 FAX: 042-330-5610

【イベント詳細ページ】

<https://www.tufts.ac.jp/event/2021/a-moji.html>



主催:東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所(AA研)
企画:AA研既形成拠点GICAS
AA研共同利用・共同研究課題「アジア文字研究基盤の構築(2)
一文字学に関する既存術語の再検討」、
科学研究費補助金挑戦的研究(萌芽)
「アジアの文字研究を対象とした、「字形」研究基盤の構築」

